

<http://tomas.styblo.name/wmctrl/>

<http://techno-st.net/2008/12/18/-x-wmctrl.html>

コマンドラインでウィンドウマネージャを操作する

対応するウィンドウマネージャ

- blackbox ≥ 0.70
- icewm
- kwin (the default WM for KDE)
- metacity (the default WM for GNOME)
- openbox ≥ 3
- sawfish
- fvwm ≥ 2.5
- waimea
- pekwm
- enlightenment $\geq 0.16.6$
- xfce ≥ 4
- fluxbox $\geq 0.9.6$
- matchbox
- window maker ≥ 0.91

インストール

パッケージを使う場合

- CentOS

```
yum install wmctrl
```

- debian 系

```
apt-get install wmctrl
```

ソースからインストールする場合

<http://tomas.styblo.name/wmctrl/#download>

からダウンロード

```
tar zxvf wmctrl-1.07.tar.gz
./configure
make
make install
```

使い方

ウィンドウ指定について

```
wmctrl -l
```

で表示されるウィンドウ名か以下の値を指定できる

--	--
:SELECT:	コマンドを適用するウィンドウをクリックして 選択
:ACTIVE:	アクティブウィンドウにコマンドを適用する

ウィンドウのリストを表示

```
wmctrl -l
```

ワークスペースの切り替え

```
wmctrl -s 1
```

ウィンドウを指定のワークスペースに移動

```
wmctrl -r ウィンドウ名 -t ワークスペース番号
```

例 (アクティブウィンドウを 2 番のワークスペースに移動)

```
wmctrl -r :ACTIVE: -t 1
```